

## 令和2年度 事業報告（概要）

社会福祉法人鳥取県厚生事業団

### 1 主要事項

#### (1) 新たな基本理念・経営方針に基づく事業運営の推進

改正社会福祉法に基づき、地域共生社会の実現を進めるため、法人基本理念及び経営方針については、令和2年4月1日に一部改訂したところです。

この基本理念のもと、地域における公益的な取組を更に推進するため、地域ニーズ等の把握を積極的に行うこととしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりニーズ調査等の活動に支障が生じ実施が困難でした。

引き続き、次年度以降においては、取組の推進策等を再検討の上実施します。

#### (2) 法人50周年記念事業の実施

令和2年10月に記念式典・基調講演等イベントの開催を計画し、準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、次年度へ延期することとしました。

#### (3) 人材確保

人材不足の課題を解消するため、求人活動の一環として、法人のイメージアップのPR動画を制作し、法人ホームページへの掲載、各種就職フェアなどでの紹介等に有効活用しました。

また、鳥取県内の専門学校・短期大学等への訪問活動を行い、学校側との採用内容についての情報交換を行うなど、積極的な募集・採用活動の推進に努めました。

令和元年度から実施している近隣他県学校への訪問活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見合わせました。

#### (4) 巖城はごろも苑の移転改築

施設の老朽化等の理由により、移転改築を進めていた巖城はごろも苑について、湯梨浜町への新施設（4階建て・定員120名〔12ユニット〕）の建設が完了し、令和3年3月14日から「湯梨浜はごろも苑」として施設運営を開始しました。

#### (5) あさひ園・白兔はまなす園の統合改築

老朽化が著しい、あさひ園・白兔はまなす園について、両施設を統合した入所施設の福祉センター内（旧あさひ園西棟跡地）への建設に着手するとともに、新たな施設における支援体制等についての検討を進めました。

#### (6) 人事考課・キャリアパス制度の導入

人事考課制度等について試行を行う計画でしたが、労働組合・職員向け用の説明資料の見直し、検討に留まりました。

令和3年度は試行実施に向けて準備を進めます。

#### (7) 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策

利用者・職員の安全・安心を第一とし、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を積極的に行いました。

施設等における日常的な感染予防等は勿論、法人及び各施設における感染時対応マニュアル等の策定、衛生用品の準備・設備等の設置、感染発生時対応の備蓄品等の確保などを行い、感染防止対策と有事の際の円滑な体制整備を進めました。

また、緊急事態宣言等の時期においては、随時、職員等に対して防止対策等の注意喚起を行うなど、水際対策に努めました。

#### (8) 大規模修繕・備品更新等

○施設・設備の老朽化に対応するため、また利用者の環境改善等を図るため、空調設備設置工事（鹿野かちみ園・鹿野第二かちみ園）、トイレ・居室改修工事（羽合ひかり園）、空調設備更新工事（母来寮）、屋根改修工事（母来寮）を行いました。

また、送迎等車両（羽合ひかり園）、食器洗浄機（羽合ひかり園）、移動式入浴用リフト（友愛寮）、特殊浴槽（いこいの杜）の更新を行いました。

○今年度については、鳥取県等からの補助金などを活用し、新型コロナウイルス感染症対策に資する備品・設備（空気清浄機、非接触型検温システム、パーティション、タブレット、Webカメラ、陰圧装置等）の整備を積極的に行いました。

## 2 社会福祉事業及び公益事業の実施状況

- (1) 第一種社会福祉事業（13施設）
- (2) 第二種社会福祉事業（12事業）
- (3) 公益事業（1施設8事業）
  - ア 自主経営施設（1施設）
  - イ 自主事業（1事業）
  - ウ 受託事業（5事業）
  - エ 助成事業（2事業）

## 3 理事会、評議員会、監査及び施設長会

- (1) 理事会 6回開催
- (2) 評議員会 3回開催
- (3) 評議員選任・解任委員会 開催なし
- (4) 監事による監査 決算監査1回実施
- (5) 会計監査人による監査 期中監査及び期末監査を受審
- (6) 経営委員会 3回開催
- (7) 施設長会 3回開催

## 4 経営・運営に関する事項

### (1) 福祉サービスの更なる向上

#### ア 安心・安全かつ安定したサービスの提供

利用者の安心・安全なサービスを確保するため、更なる支援・介護サービスの質の向上に努めるとともに、各施設等において生活環境等の改善など、リスクマネジメントの取組みを積極的に行いました。

また、災害、感染症など各種マニュアルを整備、実践することにより、対策の強化と有事の際の対応力を高め、施設等の安定運営に努めました。

職員の身体的・精神的な負担軽減と業務の効率化のため、移動用リフトなどの介護機器、コミュニケーションロボットなどの介護ロボットの導入、また、新施設等において利用者見守りシステムを導入するなどICT化を進めました。

#### イ 虐待防止の徹底

利用者の人権と尊厳を守るため、「法人虐待防止要綱」等に基づき、虐待防止研修、虐待防止チェックシート（全職員対象）などの取組みを行い、虐待防止に努めました。

#### ウ 職員の人材育成

- (ア) 「法人職員研修実施要綱」に基づき、各種研修の実施を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、今年度については対面の必要のない形式で以下の研修のみ実施しました。

主な研修－新規採用職員研修、職員実践報告会、虐待防止研修

- (イ) 介護福祉士実務者研修受講料の補助を行うなどし、介護福祉士、その他資格取得の促進に努めました。

#### エ 苦情、要望等への対応

利用者、家族等からの苦情、要望等を積極的に受け付け、各施設の苦情解決委員会等での検討のもと、速やかな解決に向けた対応を行うとともに、更なるサービスの向上等に繋げました。

#### オ 福祉サービス第三者評価等の受審

障害者施設（2施設）、高齢者施設（2施設）の4施設について、福祉サービス第三者評価を受審する計画としていましたが、新型コロナウイルスの影響により、次年度の受審に延期することとしました。

次年度については、当該4施設・令和3年度予定7施設の計11施設について本評価を受審する予定としています。

**(2) 法令遵守（コンプライアンス）の徹底**

法人業務管理体制要綱、その他法人諸規程・関係法令等に基づき、法人・施設の運営及び利用者支援等を行いました。

**(3) 第3期経営計画の推進**

第3期（平成30年度～令和4年度）経営計画に基づき、巖城（湯梨浜）はごろも苑の改築事業、白兎はまなす園・あさひ園統合施設の建設事業などを遂行しました。

また、障害者グループホーム入居者の重度・高齢化に伴い、ふるさとホームの一部については、令和2年9月から、日中サービス支援型ホーム「あまつホーム」に転換し、支援の充実を図りました。

**(4) その他の取り組み**

情報公開、働きやすい職場づくりの推進に努めました。

**5 理事の職務執行に係る法令・定款の適合及び業務の適正確保に関する事項**

社会福祉法に規定する業務の適正を確保するための体制等に関し、「法人内部管理体制の基本指針」に基づき管理を行いました。

また、理事の職務執行状況の報告を2回行いました。